

LANDRiV リリースノート

2012年5月17日

LANDRiV for Nivo バージョン 2.3.1

LANDRiV for Nomad バージョン 4.3.1

LANDRiV for SPS バージョン 2.3.1

株式会社ニコン・トリンプル

目次

1. LANDRiV 新バージョンリリースのご案内.....	3
2. 新しい機能 および 改善点	3
2-1. LANDRiV for SPS のみ変更	3
2-1. LANDRiV for Nivo／Nomad／SPS 共通で変更.....	4

1. LANDRiV 新バージョンリリースのご案内

以下のとおり、LANDRiV の新バージョンをリリースいたしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV for Nivo	2.3.1	Nivo H シリーズ
LANDRiV for Nomad	4.3.1	Nivo H/S シリーズ NST-305Cr/307Cr, NST-C1r GF-200N/200/300N/300/400N/400 シリーズ (旧モデル) NST-100/200/300N/300 シリーズ(旧モデル) DTM-400/500/600 シリーズ(旧モデル)
LANDRiV for SPS	2.3.1	SPS トータルステーション

旧バージョンからの主な変更点:

国土交通省国土技術政策総合研究所(以下 国総研)より2012年3月29日付で発表された「施工管理データ交換標準 Ver.4.0」および「出来形管理用トータルステーション機能要求仕様書(土工編、舗装編)」に対応しました。

ご注意とお願い

上記「施工管理データ交換標準 Ver.4.0」に対応する為には、新たに Ver.4.0 用のパスコードが必要となります。詳しくは、バージョンアップを実施される前にお買い求めいただきました販売店様へお問合せください。必ず、新しいパスコードを確認の上、バージョンアップを行ってください。

2. 新しい機能 および 改善点

2-1. LANDRiV for SPS のみ変更

- 「記録モード」
 - 測距設定内に記録モード(測距のみ、測距+記録、測距+確認)を追加しました。
 - <修正箇所>
 - 基本観測／横断観測／横断放射観測／法面観測／誘導処理全般

<修正しない箇所>

出来形観測

2-2. LANDRiV for Nivo/Nomad/SPS 共通で変更

● 「出来形観測」

- 国総研「施工管理データ交換標準 Ver.4.0」の設計データ入出力に対応しました。
- 観測結果の断面離れ値が、初期設定で設定した制限値を超えた場合、出来形観測値を記録できないように改良しました。
- 出来形管理項目の厚さを計測時、管理点からの水平距離が制限値を超えた場合、出来形観測値を記録できないよう改良しました。

● 「設計データ」

- 国総研「施工管理データ交換標準 Ver.4.0」のオーバーハングデータの定義方法に対応しました。
- 現場管理／設計データ選択時表示するサブメニューの項目順番を上から「中心線」／「縦断データ」／「横断データ」に変更しました。(横断と縦断の順番を入れ替えました)

● 「誘導機能」

- 測設時で誘導機能を仕様している時の誘導制限値の確認で、従来は測設点と観測点の X または Y 座標の差を比較していましたが、これを測設点と観測点の 2 点間距離の差に変更しました。(設定画面／誘導画面)
- 誘導画面:制限値(赤い線)を四角から円に変更しました。
- 誘導画面:誘導方向矢印のアイコンサイズを大きくしました。

● 「出来形設定」

- 舗装出来形観測時の厚さ水平離れ項目を追加しました。出来形厚さ観測の管理点からの制限距離を設定します。
- 設定値に<制限無し>項目を追加しました。

(従来は制限無しに設定する場合、0 の値を設定していましたが、わかりずらいため、予め<制限無し>という項目を選択できるようにしました。)

対象項目: 標高差／幅員差／CL 離れ差／厚さ許容範囲／深さ許容範囲／法長(全て)ComboBox
で制限無し>を選択すると、各種観測時の制限を行わないよう改良しました。

- 「初期設定」
 - 器設タブ
 - ✓ 既知点 水平距離差／鉛直距離差に<制限無し>を追加しました。
 - ✓ 任意点 X,Y 方向誤差／Z 方向誤差に<制限無し>を追加しました。
- 「測設設定」
 - 誘導範囲設定値に<制限無し>を追加しました。
- 「バージョン情報」
 - バージョン表記を *.*.* 形式に変更しました。(ビルド番号を別の箇所に表示するよう変更しました)
- 「横断マップ」
 - 横断図(丁張／出来形観測の画面参照)の断面名を選択すると断面名メッセージボックスを表示するよう改良しました。(従来は、断面名が長い場合、断面名が切れてしまい断面名を確認することができませんでした)
- 「計算処理」
 - 屈曲点の処理で、直線要素が5mm未満の場合、前要素の終点接線方向角、後要素の始点接線方向角の平均値を直線要素の接線方向角として扱うよう変更しました。

以上